

2010年
5月1日
No.92

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-522-7868



滋賀・憲法をつとい 有馬京都仏教会理事長が講演 憲法を守り、核兵器廃絶を

4月29日大津市において、「滋賀・憲法をつといー守ろう平和・語ろう未来ー」が開かれ、約400人が参加しました。京都仏教会理事長で金閣寺、銀閣寺住職の有馬頼底氏が「夢窓国師のことは『別に工夫無し』」と題して講演されました。

有馬氏は「仏教に国境はない。平和憲法を守り、核兵器廃絶をと飛び歩き、わめき散らしています」と、ユーモアたっぷりに語られました。ブッシュ前米大統領が来日時「世界は平和でなければなりません」と直言し、アメリカ市民から感謝の手紙が来たこと。北朝鮮でも「テポドンなど、ばかなことはやめてくれ」と訴え、「北朝鮮は遠い国だが、東洋の一員。いつか雪解けが来る」という深い確信を語られました。沖縄普天間基地でも鹿児島徳之島の歴史を紹介し、「米軍は出て行ってくれ」と述べられました。

「別に工夫無し」とは、「何もあれこれ工夫などしなくてもよい。各人がそれぞれ自分に与えられた場で、

与えられた仕事に真剣に取り組むことが、大事だ」ということ。いまわれわれの仕事は、平和を守り、未来を語ることだと、強く感じました



講演をされる有馬頼底氏

寺田さん 沖縄県民集会に参加 基地そのものが日本にはいらない

米軍普天間飛行場の沖縄県内への移設に反対する県民集会が4月25日、沖縄県読谷村運動広場で開かれ、青空に「沖縄に米軍基地はいらない」の9万人の唱和がとどろきました。滋賀従組・年金者部会の寺田源吾さんは、上半身、黄色一色のスタイル(右の写真)で参加されました。寺田さんは「沖縄がこんなひどいとは思わなかった。自分の土地でも入れない、なぜ65年間もこの

状況が引き継がれてきたのか。基地は米国に持って帰ってもらいたい。普天間はもとより、基地そのものが日本にはいらない。日本国民すべての人が自分の問題として考えてほしい」と感想を言っておられました。



岩波美智子さん 画

職場の声

相談に出たら
「私服の人に代わって」



「お客さんが相談したいと言っておられるから、窓口に出て」と言われ、窓口に出たら、お客さんから「私服の人に代わって」と言われました。相談の仕事とは？ 制服・私服とは？ 考えてしまいました。

「おばあさん泣きそうに依頼
相続がすまないと出せない」だけ

銀行のロビーで待っていると、おばあさんが「おじいさんの名義の預金を出してほしい」と泣きそうに頼んでおられました。窓口は「おじいさんは亡くなっておられるので相続がすまないと出せない」と言っただけ。おばあさんは、びつびつ言いながら帰られました。